

患者向医薬品ガイド

2024 年 12 月作成

オルダミン注射用 1 g

【この薬は？】

販売名	オルダミン注射用 1 g OLDAMIN FOR INJECTION 1g	
一般名	モノエタノールアミンオレイン酸塩 Monoethanolamine Oleate	
含有量 (1 バイアル中)	モノエタノールアミンオレイン酸塩	1.000g
	（オレイン酸	0.822g
	モノエタノールアミン	0.178g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、食道静脈瘤硬化療法・胃静脈瘤退縮・静脈奇形硬化療法剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血管の内皮細胞を速やかに破壊し、その部位へのフィブリン、血小板及び赤血球の沈着、集積を起こすことによって血栓を形成させます（血液凝固系は関与していません）。静脈瘤の消失機序は、閉塞血栓による静脈瘤の虚脱及び血栓の器質化による瘤の縮小です。
- ・次の目的で、医療機関で使用されます。

食道静脈瘤出血の止血及び食道静脈瘤の硬化退縮

胃静脈瘤の退縮

静脈奇形の硬化退縮

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○ときにショック等の重篤な副作用があらわれることがあります。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・ショックあるいは前ショック状態にある人
- ・多臓器障害あるいは播種性血管内凝固症候群（DIC）状態の人
- ・胃潰瘍出血、十二指腸潰瘍出血又は胃びらん出血のある人
- ・経内視鏡的食道静脈瘤硬化療法に際し、内視鏡検査が危険と判断された人
- ・心肺に重篤な合併症のある人
- ・腎臓に重篤な合併症のある人
- ・過去にオルダミン注射用 1g に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・全身性消耗疾患がある人
- ・心・脳血管障害がある人
- ・腎臓に障害がある人
- ・肝臓に重篤な障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・授乳中の人

- ・この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状や体重などにあわせて、医師が決め、医療機関において使用されます。

〔食道静脈瘤出血の止血及び食道静脈瘤の硬化退縮の場合〕

通常、成人には静脈瘤 1 条あたり 5%モノエタノールアミノレイン酸塩として1～5mL を食道静脈瘤内に注入します。1 内視鏡治療あたりの総注入量は 20mL 以内です。

〔胃静脈瘤の退縮の場合〕

通常、成人には 5%モノエタノールアミノレイン酸塩として 1 治療あたり 0.4mL/kg 以内を胃静脈瘤内に注入します。1 治療あたりの総注入量は 30mL 以内です。

〔静脈奇形の硬化退縮の場合〕

通常、成人には 5%モノエタノールアミノレイン酸塩として 1 治療あたり 0.4mL/kg を上限として静脈奇形病変内に注入します。1 治療あたりの総注入量は 30mL 以内です。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬により、ときに播種性血管内凝固症候群（DIC）があらわれることがあるため、定期的に血液検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
播種性血管内凝固症候群（DIC） はしゅせいけっかんないぎょうこしょうこうぐん	あおあざができる、鼻血、歯ぐきからの出血、血尿、便に血が混じる、意識の低下、息切れ、動悸（どうき）、尿量が減る、皮膚が黄色くなる、白目が黄色くなる
肝性昏睡 かんせいこんすい	手のふるえ、物忘れをする、幻覚、訳が分からない行動をする、あばれる、意識の低下
重篤な血栓症 じゅうとくなけっせんしょう	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、激しい頭痛、脱力、まひ、めまい、失神、目のかすみ、舌のもつれ、しゃべりにくい
食道穿孔 しょくどうせんこう	吐き気、嘔吐（おうと）、寒気、発熱、激しい腹痛、ふらつき、息切れ、意識の低下
胃潰瘍 いかいよう	吐き気、嘔吐（おうと）、吐いた物に血が混じる（鮮紅色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る
急性呼吸窮迫症候群 きゅうせいこきゅうきゅうはくしょうこうぐん	息苦しい、呼吸が浅くなる、咳、痰、呼吸がはやくなる、脈が速くなる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる

肺水腫 はいすいしゅ	息苦しい、息をするときゼーゼー鳴る、咳、痰、呼吸がはやくなる、脈が速くなる、横になるより座っているときに呼吸が楽になる
---------------	---

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。

これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、むくみ、体がだるい、あばれる、脱力、まひ、寒気、発熱、ふらつき
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下、物忘れをする、幻覚、訳が分からない行動をする、激しい頭痛、失神
顔面	顔面蒼白（そうはく）、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目のかすみ
口や喉	歯ぐきからの出血、舌のもつれ、しゃべりにくい、吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（鮮紅色～茶褐色または黒褐色）、咳、痰、唇が青紫色になる
胸部	息切れ、動悸（どうき）、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、息苦しい、呼吸が浅くなる、呼吸がはやくなる、息をするときゼーゼー鳴る、横になるより座っているときに呼吸が楽になる
腹部	激しい腹痛、腹痛、胃がむかむかする
手・足	手足が冷たくなる、手のふるえ、ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、脈が速くなる、手足の爪が青紫～暗紫色になる
皮膚	あおあざができる、皮膚が黄色くなる
便	便に血が混じる、黒い便が出る
尿	尿量が減る、血尿

【この薬の形は？】

販売名	オルダミン注射用 1 g
性状	無色ないし淡黄色の澄明で粘稠な注射液
形状	バイアル製剤 
pH	8.5 ～ 9.5※
浸透圧比	約 0.4（生理食塩水に対する比）※

※本品 1 バイアルを注射用水 10mL で希釈した場合

【この薬に含まれているのは？】

販売名	オルダミン注射用 1 g	
有効成分	モノエタノールアミンオレイン酸塩	1.000g
	{ オレイン酸 モノエタノールアミン 0.822g 0.178g	
添加剤	1 バイアル（10g）中 ベンジルアルコール 0.4g	

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

発売会社：あすか製薬株式会社 (<https://www.aska-pharma.co.jp/>)

くすり相談室

電話：０１２０－８４８－３３９

受付時間：９：００～１７：３０

（土・日・祝日および当社休日を除く）

製造販売会社：富士化学工業株式会社